

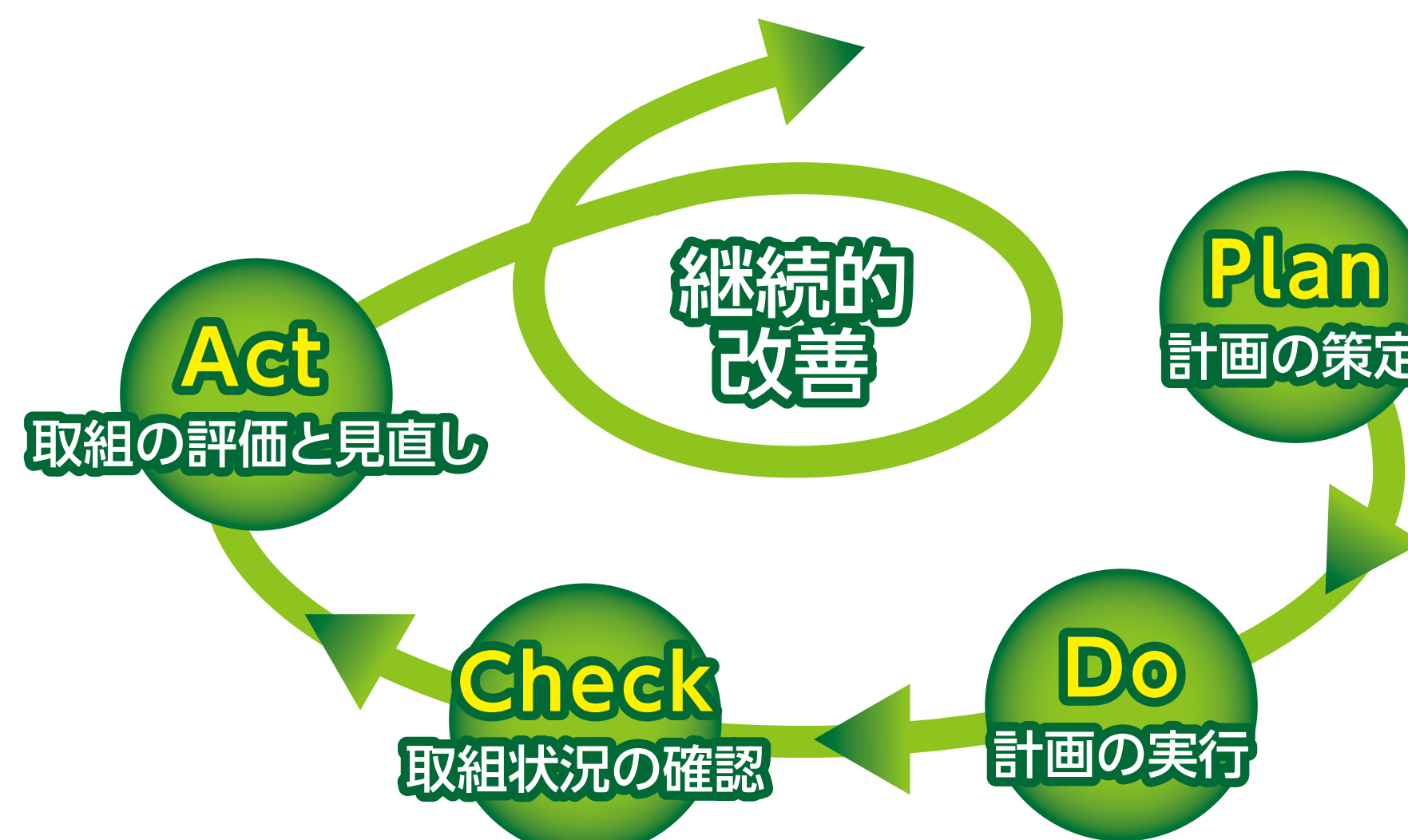
エコアクション21とは？

エコアクション21とは

- 環境省策定の「環境経営」認証・登録制度
- 「PDCAサイクル」に基づき、事業者が環境への取り組みを自主的に実施できる
- 業種や事業規模等を問わず、あらゆる事業者が取り組める
- 「環境経営」とは、事業活動と環境との関わりに気づき、目標を持ち、行動に移すことで、企業価値を高めることを目指した企業経営のことです。

エコアクション21の特長

- 中小事業者でも容易に「環境経営」の仕組みを構築し、運用できる
- 環境への取り組みの実施内容や実施方法が、具体的で理解しやすい
- 環境負荷（CO₂排出量等）の把握集計及び目標管理が容易にできる
- 環境活動レポートを作成し、環境コミュニケーションが容易にできる



エコアクション21は、日本の環境政策における重要な施策のひとつ

「環境配慮促進法」「地球温暖化対策計画」「優良産廃処理業者認定制度」に位置づけ

エコアクション21に取り組むメリット

①総合的な環境対応が可能

『環境経営システム』、『環境への取り組み』、及び『環境コミュニケーション』の三つの要素を統合

②経営面での効果

- 経費削減
- 生産性・歩留まりの向上
- 目標管理の徹底
- 社員意識の向上等

③取引条件への対応／ビジネスチャンスの拡大

- 大手企業：環境経営に取り組むことを取引条件の一つに
- 自治体：入札参加資格審査での加点要素に

④低利融資制度の利用

多くの金融機関において、認証・登録事業者への低利融資制度を実施

⑤社会からの信頼獲得

- 認証・登録により、環境に取り組む企業であることを社会にアピール
- 環境活動レポートの作成・公表により、取引先及び顧客等からの信頼性向上

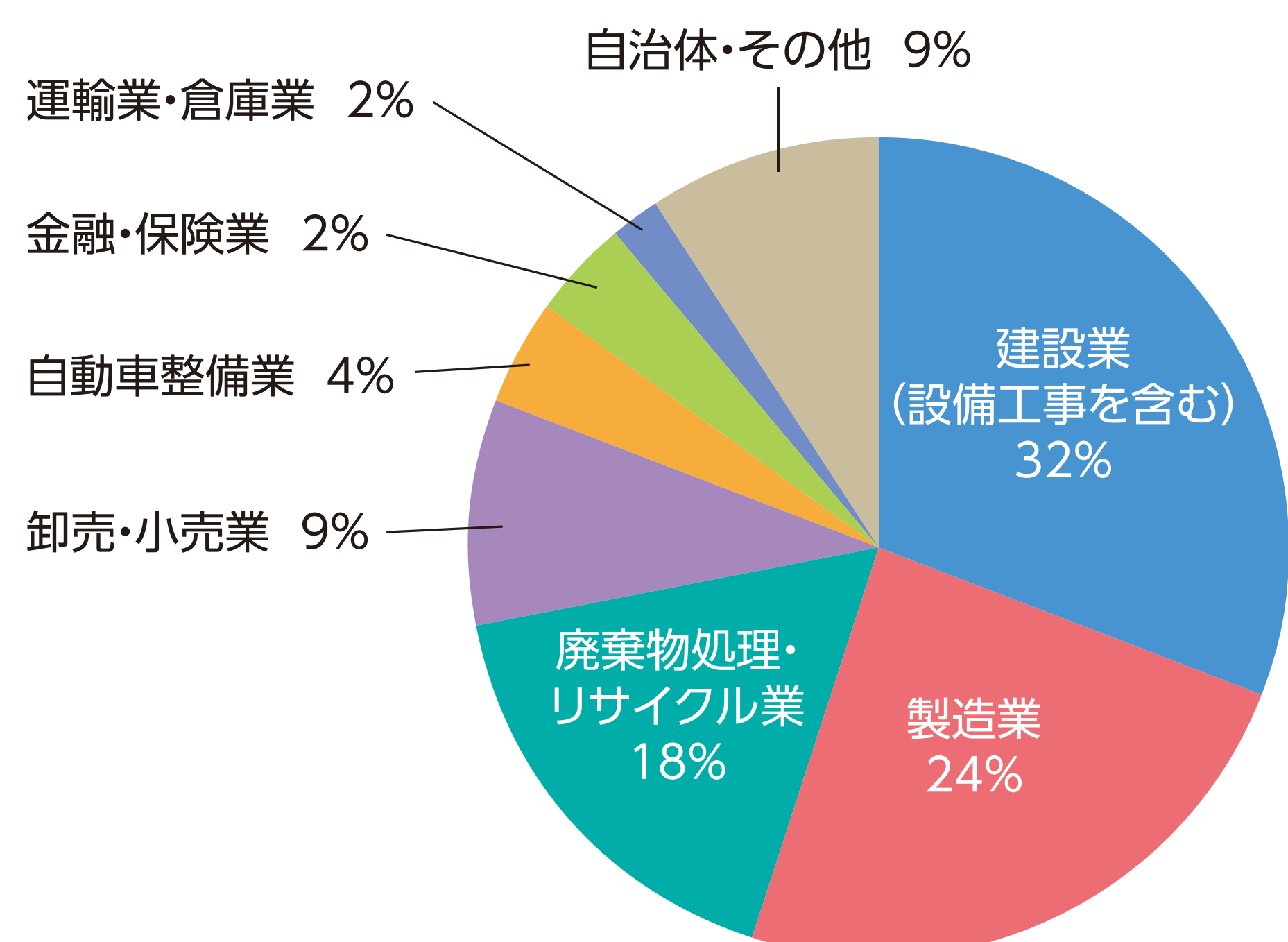
⑥ロゴマークの使用

- パンフレット
- カタログ
- 封筒
- 名刺
- 車両
- 会社看板

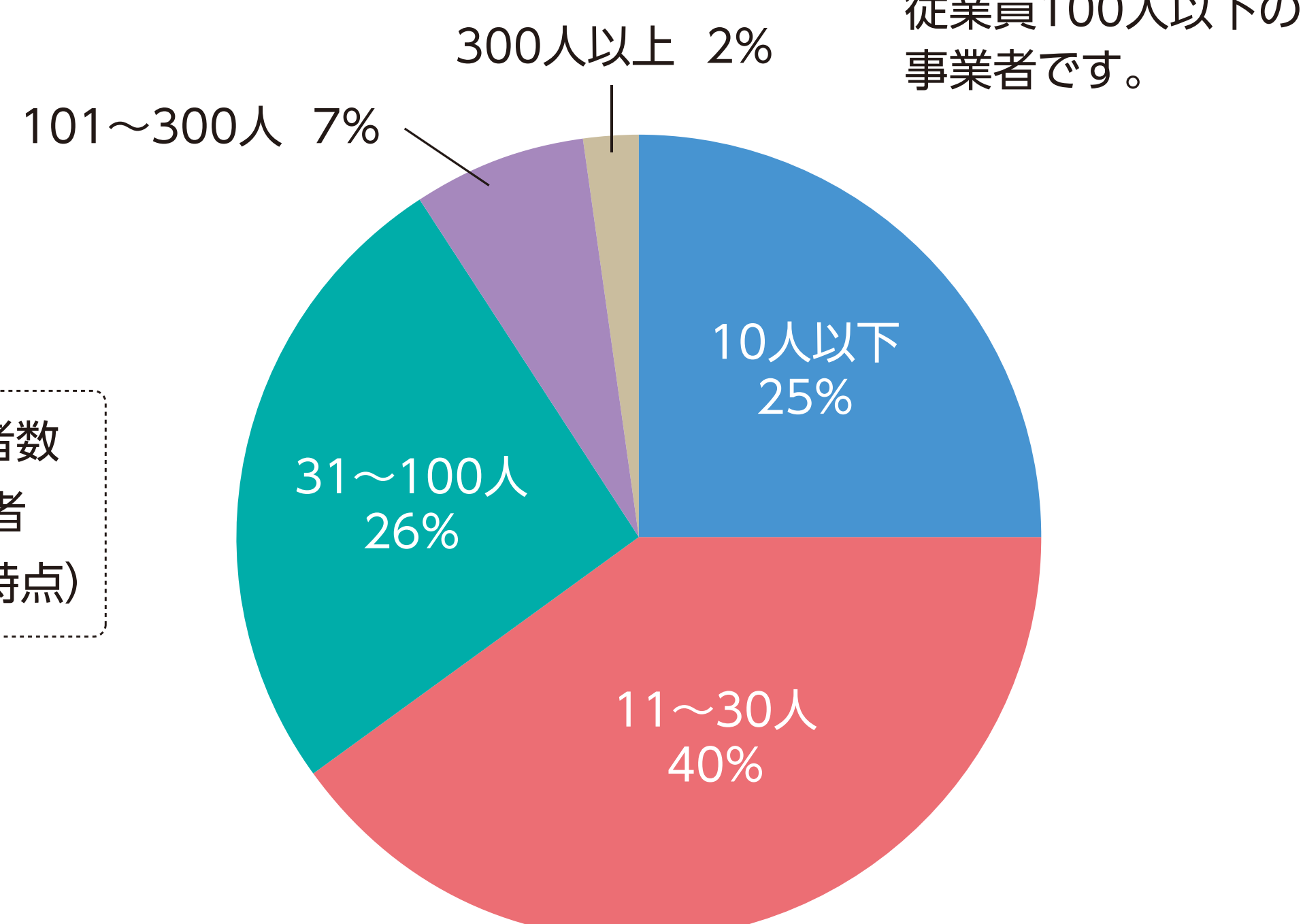


さまざまな業種・規模の事業者がエコアクション21に取り組んでいます。

●業種別割合



●規模別割合



認証・登録事業者数
約7,800事業者
(平成28年12月時点)